

第63回 獣医学セミナー

マボヤの被囊軟化症 魚病における新興感染症の一例

柳田 哲矢 先生
(獣医寄生虫学)

2017年 4月19日 (水)
17:00-18:00

iCOVER 1階101 (形態構造学実習室)

水産養殖の現場では、多様な感染症が問題となっています。特に海面養殖の疾病対策では、開放系である故の難しさがあります。本セミナーでは、魚病学の分野において新興感染症への対策に向けた研究がどのように行われるか、また、その過程で直面する問題点などを、マボヤの被囊軟化症を例として紹介します。被囊軟化症は、日本と韓国のマボヤ養殖で発生している感染症で、日本では10年ほど前から問題となっています。昨年改定された「水産防疫対策要綱」では、新たに「特定疾病」に指定されました。被囊軟化症の原因が解明された経緯から、対策に向けて現在行われている研究内容についてお話します。

★飲み物・おやつを用意します。

教員・学生の積極的な参加をお願いします！★

連絡先：清水 隆 (5895)
柳田哲矢 (5914)

共同獣医学部

